

第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



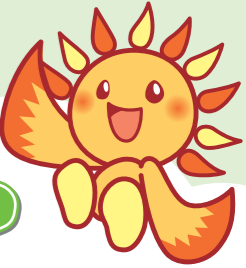
きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら



万騎が原地区

万騎が原
柏町※
二俣川二丁目※
さちが丘※

※ 他の地区にもまたがっています。

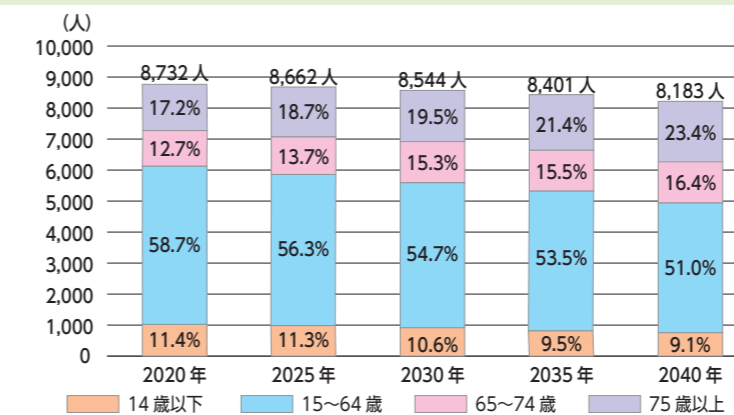


あなたの まち は、どんなまち？

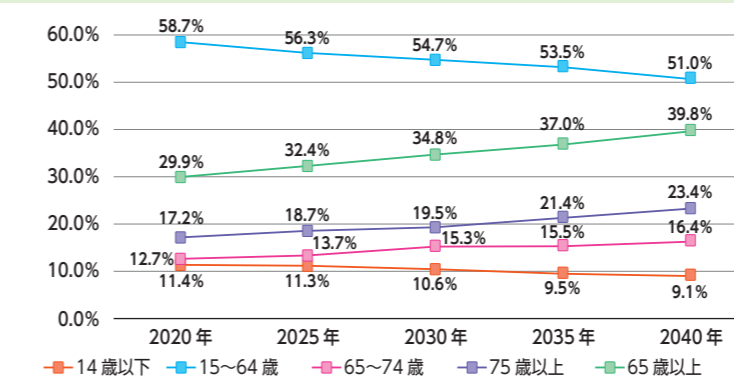
万騎が原地区は、二俣川の南側丘陵地を、昭和30～40年代にかけて開発された、戸建て住宅を主体とした住宅地です。昭和50年代には、相鉄いずみ野線開通により南万騎が原駅周辺も住宅地となりました。近年は、高齢化に伴う住み替えや相鉄線の都心直通運転の開始等により、子育て世代の転入が増加しています。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約 8,700 人で、
今後はゆるやかな減少傾向で推移
すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は10.6%、
65歳以上は34.8%となる見込み
です。

誰もが主役で、一人ひとりが輝けるまち

これまでの取組

- 万騎が原フェスタ：地域の活動団体、学校、施設などが連携して開催。多様な参加者の交流の場となった。
- みんなでクリスマス会：地域の親子を対象に開催。多世代交流の場となった。
- 情報発信：地区社会福祉協議会の取組をホームページに掲載するなど、紙面だけでない多様な情報の発信に取り組んだ。

目標と主な取組

目標 A 地域のつながりづくりを進める

- ▶ 隣近所でのあいさつや声かけにより、世代を超えて、お互いに知り合う関係をつくる
- ▶ 日常的に必要な地域の行事を継続し、地域の関係づくりにつなげる
- ▶ 各団体が連携してイベントを開催し、住民同士のつながりをつくる



万騎が原フェスタ

目標 B 思いやりの心を育む地域をつくる

- ▶ 登下校時の見守りや、隣近所で日常の中でできる見守りの意識を広めていく
- ▶ 福祉施設等との連携を図り、活動への協力や地域の行事への参加を呼び掛けていく
- ▶ ジュニアボランティア体験事業や地域行事の手伝い体験、小学校の地域での学習の支援などにより、学齢期の担い手を育成していく
- ▶ チームオレンジ^{*}を通じて、地域での認知症の理解や見守りの目を増やしていく

* 認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動です。



認知症サポーター養成講座



ジュニアボランティア

目標 C 子どもから大人まで、誰もが参加・活躍できる場づくり

- ▶ 子育て世代が参加しやすいイベント実施による多世代交流の促進を図る
- ▶ 誰でも参加できる、小さな交流の場を増やす
- ▶ 好きなことや得意なこと、経験を活かせる活躍の場（ステージ）づくりと新たな担い手発掘
- ▶ ICTを活用しながら、情報発信を工夫し、様々な活動について広く周知していく



みんなでクリスマス会

目標 D 高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくり

- ▶ ラジオ体操、ウォーキング、シニアスポーツ等を通じた健康づくりと仲間づくりをすすめていく
- ▶ 公園を会場とし、健康や介護予防に関するイベントを実施していく
- ▶ 老人クラブや地域の小グループによるサロン活動を増やしていく
- ▶ 詐欺被害防止など、防犯意識向上のための取組を実施していく



ウォーキング

目標 E まちぐるみでの防災・減災への意識向上の推進

- ▶ 地域防災拠点と単位自治会との連携をすすめ、在宅避難を中心とした防災に取り組んでいく
- ▶ 減災の意識を高める取組を実施していく
- ▶ 災害時要援護者への日常的な見守りに取り組んでいく



万騎が原小学校の拠点訓練

推進体制

万騎が原地区ふれあい福祉委員会

【統括管理】 連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会

【実動組織】 民生委員児童委員協議会、保健活動推進員会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、連合子ども会、かがやきクラブ（老人クラブ）、その他保健福祉関係ボランティア活動団体